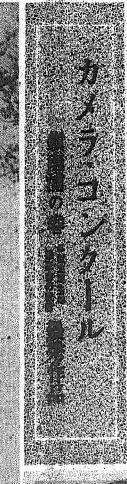
子儿 夕 百岁 8.兄 人行際報題 介之三川小 人 斯 · 思 日丁一是平太海域家 社製日域収 派台費合 新行品







なんのすがたが、念師僧らしかつ

ので、何とはなく、仮向いてる

き、四立といる部路まで來ると、

個水川の水に添つて、松井相を

した影が、淡むらさきに帰めら

かすみの上に、妙義の山の餓々

春は南へ(四)



であるが、作書は左の人々である、なほう儀も歴々各地の全無郷意聴霊獣政の作品をこの熟色として立家なものも新聞助酬としてはその作品の戦を上分担土事が出来ないのは懸念気が、その中の優態作品を、けふのカメテコンタールに敬揚させることにした。 本社蔵圏浦支局の上間でよる五月十日観電浦二和公寮で撮影競技路を開いた結果は既義の本社談と

は、きりませぬかん

「おゝ、西帰御房か。…

一、法然上人からではござるませぬ と宝つて、あはて、旅包みを総 一安開院の影響は日から

と ロをつぐみ、その他、後へ

「仔細は、このお文に」 題の手へ差し出すと、

そして、取り出した一道を、

ら御上路の途中にある親熊御房で

したのでは つて進れのでございます

「もして、あなた様は、越後路か」く、あたた際へ、お便を踏すため さらであつたが、 に、私はすぐ東海道をいそいで下 この観覧へ、お使の最にですから に引つ返して、健康、出たといる あなだ様の第二年が、木質路の雪 一師の法然情から? 程度は、いぶかしげな配をみは



り、そこでなりこの他へ続つて御館洛と聞いて、すぐ節へ駆せ上 こ……その世に残きまして、質は 元の吉水にお住居か、それとも他 の後いつこにお彼りあらせてか、 へおつてお願りの途中とかっ 來たばかりの所でございます』 それは、よい品に含ひました。 と、明智景は、暗い願して、 測度の関しいは下に、 て法然様には、都へ御安着 層画御路路のために、都

いつくすらに、組織の脚下へ来て、

作と時とを見合すと、無情は飛

と弾力ある潜脈に返つてをりますそのまへお就験になれば朝は生べ 性の方は叮嚀に拭きアレ性の方は 掘く様にマツサージして、アブラ や脂・郷がさつばり除れる 次に お就般前にマスターコールドを顔 少しクリームが産る程度に拭いて もう一度クリームをつけ続く間を

を與へ老腹物を排泄する力の 分や、基本美肌耐ラセランと よつて、美肌効果の優れたヴ 力優れ栄養豊富です、光線に 乳化も極めて完全なので透透 は汚れを除る力が非常に強く 肌の清浄に最も適した結構度 就寝する事は最も有害です 切で、殊に汚れた肌のましで 優れた美肌剛を多量に配合し を作られたマスターコールド 地肌を買か、美自に保られて てありますから性能第一等で いつて皮膚細胞に茶養と活力 イタミンのに變化する特殊成 ヴィタミンロ お肌の C M

越路篇

山村 この程、歴師法然様が、過越より 耕花高 治作

地肌から

最もお化粧を効果的にする基 弾力ある整へられた地肌こそ

礎なのです、地肌を美しくす

るには清水・野菜類を成るべ

夜 朝 Ø

充分な睡眠・肌の清潔等が大

く構つて血液を清浄に保つ事

- 國、長松和方は二下面の火災保

の場所で一時は大騒ぎだつた

帝國尖的院の財政作用は、十二日

るにぜつた、加して管院第三部(彫

れる各勢力に對して文相試案に對

一部創設その他文相支持版と見ら | 皇雲氏など機関門下

上面衝突に不可避

ため臥してゐた同家の龐女立士

火災で同家・駅の一組に属料

一川台玉草、鏡木浦方蘭伯等の創設 定射則湖の全質が常眠と総象した の変質が常眠と総象した

氏はさきの平生文相との国意館職

席上文相武案支持を設明した關係

ないが、第一部第二部にはなほ担

皆既日食の研究陣

次いで行はれてゐる有機で、俗配 始めてをり美術家の秘密質合は相 品大もの人動きがな想され、 場にある朝倉文夫、常樹薬版の興一段は宝倉部見割を提出する模様で

部制的施度を持し、最も可動的立 型)では蘇治展系の北村西望氏が

ころあり、これに嬲じて洋聯七靈 | 戦に總務郷を開いて答用窓を歌跡する意見形の老盛優出を求めると | 艶は十三百年後六時から新篠泉洋

僧は十三日午後六時から新腐泉洋

【ダンチッヒ十二日間温】ダンチ

市の抗争激化す ダンチツヒ自由

を提出することに決定、父弟一部

ある、突員都も川村曼州氏、西村「直さんとする文部常局職に交相支「駅北瀬化しつくあるある、突員都も川村曼州氏、西村「直さんとする文部常局職に交相支「駅北瀬化しつくある

開闢し、ソヴェート政府が對日均總定において極東水面保稅問題と

1 十二月间監】早留山大學別ポストン大學の形球版はポストンにおいるシ大學の形球版はポストンにおいるシ大學の形球版はポストンにおいるシ大學の形球版はポストン大學

西小門町は

行倒れ繁昌

日同盟] 英蘇海軍

学権を要求してギリス政府がこれ 承報を興へたとの報道に對し、

二日大要次の如く解明したイギリス海軍當局は極力否定し十

英蘇海車協定は細然たる質的

娘が縋り泣く

り早く遠に二糖雑木造の同葉房を

男をつれて勝城氏方に履ほれてる。「日矢店の子守に雇ほれ、自分は長

が同盟く焼け死んだ世紀の死體に

きゃ様さん!~~と呼び。てあるが本年は七月廿五日から八一學校は新村に選ばれる陰虚である。に決定した

伊妃んだ匪鯨の死體に「部では蛇手動撃械間返校を崩散し「対込んである、頻節側別館の状間上三鰓にたる角髄さん」臓鱗是徹のために赤十字嶋曹華本「を二掌に麒麟倫鴉兒にしょうと感

台湾師一名金融が二名で融級児童

では十二日午後船撤勘村職案 週のは十二日午後船撤勘村職案 週

| 十一點の製造場線を締結、十三日| 日の公大園大は今からの大ໝな程。天文堂香のためにもさらに織密なる新館電に基づき瀬屋線整備員が、興味を味ふことになった、だが書。十四日から京城的並のアマチュアカ海軍省は航空機機能側やに眺土。らにして観測出来るこの領域上の「ヒゴセフネス豊」でする。第一二

を進めるので、どこででも出なが、映所でもこればかりはどうにもな

米海軍省が發表

| 擦嘘がの配道及び | 扇も、シャンコにされるので、測 | 豫烈の長期製油を行っとになった|

濟州島では

南羊 4 有望だ

總督けふ晋州から大邱へ

一週四十時間制案

職衆の協可決、本商品に報告する

場所は好過地を決勝中であるが内

を自白した、何同人は經濟性患者

べた結果、途に恋るべき犯行一切

製造契約を締結

爆擊機百九十一

西村聖、常本一思はれる

結果、事物設生後州時間目の十二 投資庫は、その足どりを追加した 知、てつきり此奴の恐行と睨んだ から行方不明となってゐる事を探

唯人見聞は大概似文音に秋百名を

部では低年夏季林間県校を開催し

所院再改組な続る

なは擴大せん

は一年一切大に死加以来長女李爾師 失ひ無疑にも焼死した、金七湖ム

を開発した、全刊側は、をして迫かしめてゐた(智真建築) 「御田収容に決定したが秋間聖校のかかつたくの選手建築) 「月十五日迄の間例年の通望を改め

雇女の母子 に焼死す

こん (人)が資金町三の二五九出中

蔵火した、厳固は同家の女中

卅時間目に坡州署のお手柄

廿歳の變態性慾者

祭部から急行した野石批事拠長、 を機動して収入連増に血聴性 との正面衝突は今や不可避と見ら 竹內栖鳳一門 意見書を發表

」――関名―が事件突破の十二日々 してゐる同里カ四〇。『葉秋日煥〇二 厳けた結果、被が著名と隣接 竹四楠國一門は十三日午後七時京 その動向を被も重要融されて居る 【京都散話】十六會員の脱退から

黄金町の朝水

湯淺藥房他二戸を全焼し

図報、去る十二日京徳道坡州郡坡 | 時派と崩災を目ざす反平牛支相派 | 書を平牛支相宛に起ば

火があつて目下入版中で七月出版 は男には喉と子供とがあり女にも キョ(『心と戦明した、心中の殿路れた平瀬旭箕林里神楽選月仲原森 京城から前借一千百五十国で歴は 朝になれぬのを悲騰しての結果と することになってをり、暗れて火 合心中死態が認着した、駐留品に

関佐原常雄(Bo)女は五月二十五日 顧曹浦梁街景壁に内地人男女の抱【平婁重節】十四日午前四時才ざ 岸壁に漂着

から成り、之が破緩緩であるさいの場所であった質・全島が悟岩を、変越門家の語では此の島が ※伸びるに十分な力を持つてる 思ったよりよい處であった、將

の人次第その態度を決定する は土田塾は散土田塾優氏の熊原

心中死體

たが、此の観察感想該を叩けば で見てゐた總督は今回之を實行し

湯淺楽

藥

局

政

次

胍

濱田屋餅店 屬城黃金町四十里三二三 屬城黃金町四十里三二三

店

謝近火御見舞

最金タクシー

武湖本局五五八〇番

街を歩く賴患者

大久保真敏商店 京城府黃金町三丁目

本局二二四番

歌話本記!七二二番

岡本雅巳

擊 米田熊次郎

京城附黃金町四丁目三二八

見舞

一謝近火御見舞

京城府黃金町四ノ四

岡本電機商會

謝近火御見舞

快するとの迷信にかられて、子供 思者が、子供の生態を喰べると金 見つけ次第小鹿島へ ◆竹村武士氏(明鮮土木建築報社

電本ルと話がよう

三四八五番へ

謝近火御見舞

置 佐藤勘三郎

化設度立をうろつく瞬態者を襲い 的今世は一名の郷思者が子供を深 野が解脱に染まって倒れ限近の 求めて玉仁町一帯をうろついて 京城府総へ引渡した翌日十四日 口仪京城新沙町地下に一名の郷

に月の路會木──櫛六お 節げ投び婉哀るけかび呼

ノ作快の來近榮みき橋本日

德永活動寫真的

市話末局二七二二番

派行歌

謝近火御見舞

山西水

京城府黃金町四ノ一四

る事になった、京徽道衛生制では 同者へ保護の上下五日小鹿島へ建 小川路へ送つて一般形式 全般天氣豫報 15

从

へ 作度ござらは まてきて たまれ かけののはし つけののお出の れ合ののよし もものかは ものがある。

謝近火御見舞

京城府黄金町四丁自郵便所

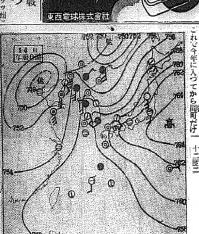
秋富真太郎

電話本局四四〇六番

訓

木曾の馬子唄の馬子唄

株式 維様の関系一 氣



住筋の組織に對してឈ点障壁に實現見職者特急で入京したが、単中

とを極力回避し、非常に関

る中川台都器皆は十三日午後九時

進退を注目されてる

- に患んだ雨かと思はれたが、大「夏の雨を得も焦かれた都原人を婆」支那、熊龍江の中流に七四八年、【4川竜盃】け、十四日に殿民。 年、笠山一年その他西北郎一帯は「た、月下宮郷の動きは低景脈は北

是民デー

軍共他多数器加、お融々が販さかに田植えを行った(夏眞

京は近では十四月后内清原里町改事が続出

けふの雨ほんのちよつびリー

となく、開棄は中が第一年。 ばしたにすぎず、旱魃に鳴ぐ肥村、高寒彫は鵬巣地写に七五六年のもま。 木浦一年 郷 州島 十三一の不安は 帰消するに 至ら なかつ |のがある

野な用意の下に左の如く離ったれることを極力回避し、非常には

て、歴定方戦通り膨鬱際に主力を「と悪けれるこの改革な冷酷を記憶突衝撃のことは滞水隠長に「忸」「の生涯で悪び都ることの出来ない突部常局では平年支担鷲明の如く「新娘に及ぼす「娘蛇」ついて、音々 即助講侃以下第二部の七層詩、第一スの成分、例のアインスタインの一時のたつた七分を中心に初断の午 方針の下にまつ自陣を強化す 陽面の整化、それから遊散するガ めることになった、日食による水

するものと見られる、仰して一方 | でも郷田所長以下全所覚が日常が「饗の睡師を解く破党は、天文聖香| 十分まで、 別々態俗をキャナナし悪眩組を纏る紡働はなほ趙紫嶽大 | 岩帳日食の十九日には京城郷倭房 | 雯馥の効果この實鍼等の地球動理 | 後一時二十分から倭国の同四時五

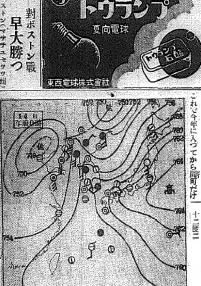
製訓器大を総動或して各政が分擔部、実販部、月射部、風力部等氣象: 脳の紀象上の遺化を、豆城の皆既 し、日食時に於ける温度と風と隔

貴重な機會を捉へて て仁川観測所に報告連絡して配気し

中川台灣總督

トウランプ厄館

三番地元で、通行人が卅五歳位の十四日午即八時頃京城西小門町一 今年十四人目



限の結果モヒ中添著と物明した。 大門客に弱け出た、身近不明、緻明野人男の行底死亡者を避圮、西

倒して居る て斯界を壓 傑作器! タブルとし 本格的木

第二〇四號 ¥35. ※田人間はで賦月期長の 四四四二本館 へ ウ







ヘウドジイメ

北蔣本局三四三六番 柯 檖 書

戎 水 木 ξ

湯

京城府黃金町四丁日二一五

謝近火御見舞

平生文相支持派と反對派の

上次の如く言明した。単常局は明伽な追溯の渡辺を担否 は五百萬那で舞蹈句については海以上台間百九十一像舞蹈は推定都 六百米智泉山の絶頭を極めた宇宙 【晋州にて大野特派員殺】而拔手

イブ州爆戦機五十四台

ーチス飛行機自動車賣世

頭上の外人ホテルで中食 總督の쇌岩と前時刻から降り出し

鯀の對日均等權承認說

英海軍當局に否定

月] 而じ (今晩) 曇り (明

仁川地方[今晚] 預の風響

ンガルトナー 至實的決別來渴 **大**第 ナトルガンイワ

第二三三編(丁八五四十一五)

七月二十五日迄

也

てゐる人影も見當らない。而山智

くあつた、この邊り深瀬で游泳し

仏地院に少年の着個が胜る後で

日午後五時頃京城元町四丁目

結城名人語る

中記、頭坂盛城記、ジギル博士とハ

ものとは全く異ります、その前出 験理問の数本の糸で弄ばれてある

重な側続の説話であります、勿

まさに神形ともいふべき

衆と異り、實に四十八本から五十

人形が理解の文架一座と共に我

の撮り人形の結城協三郎一座

適劑を

初夏の頃

時候傷り、

食心過、

冷之腹、食傷、

水源。

消化不良等から起る

脚光を浴びます、いふまでもなく 来る 十八日 から四日 間棚日座の

要は糸掛りは人形と形式だけで、 なので湖かされる。からなると もので湖かされる。からなると なのではなされる。からなると がは、質に壊しい。

城一糸の父子)
・
なと云ふ一事です(葛真は左、

釜山貯管の 事務を擴大す

三本の吊り糸によりて人形を描る一箇年の郵便形念は最正額他の一途一の設度を要認してあるが豫算の闘 「五萬に遠した、京城附金管理所だ」も現在の題信分響局の斯幌黒城に | 老力とり選に頂人人員約三百六十 | 第で一領に實現は難しいが少くと 領し 頂定者の 便盗を 闘ることに な 脱海約百萬を釜山貯金雪理所に移 で、監順北、全南北の四面組入満けでは非常な不便を来してあるの を進めてゐる 一致させるやらに返信局では引出 軍事講演と映畵會

では、南元保名といふぞうにあら、つたので極大心によれば、の勝河と軍事映画の領を聞くたさ人形が名人の神技により魂を、かので釜山の領令第七や記せれば、の勝河と軍事映画の領を聞くたさ人形が名人の神技により魂を かって釜山の領令第七や記せれば、の勝河と軍事映画の領を聞くれた人形が名人の神技によります。

源

精力の衰退を防ぐ。

得て、そこに大郷歌を現出するの一

であります、これこそ日本藝術の

る、なほその外にも盛んに萱地所ならず竇施は十月一日の豫定であ

甘蔗府尹さん 校長達を招く 教育上の意見を交換

のやうに跳つてゐられます

心で使つて

にせひ脚で戴きたいものでありま **棚頭として、あらゆる方面の方々**

▲末脱學児童の文盲啓録の敬育施 名を府職の職別に指集、既任の一 學生馬術大會 再度の準決勝

腸胃は健康の首府

遊歌を鎌めて青部及び下腹部の疼痛を除く。 鍼・痛 腸胃内壁の炎症を消し、筋肉神經の

質の分泌作用と蠕動作用を上調にする。

ヘルプは腸胃の楯」

あ活であっ 郷に聞き懇談をなし意見を聴取す

溺死したか

少年歸らず 衣物を發見

▲女子就機率の向上化

ピック代表 陸上オリン パルビン到着

四恩學園生徒金順里花で、このもの一番以下五十一名の我が難上オリン

ピック代表は十三日年前六時二十

桃花町山八番地で流んさんの二男

【ハルビン十三日同盟】遊谷總品

| 「協定推に賞を終り選手 | 同揃っては選手 | 同を大いに激酶し后八時 ションに盛んだ、同席上風版本氏 最後の練習なので一同非常な元 分ハルピンに安着し直ちに宿舎ヤ 領を見せ見物してゐる同胞を料ば ピン競技場で軽い練習を行ったが せた、午後六時からヨットクラブ に於ける施履本部長の公式リセブ マトホテルに入り、少無しでから 一同を大いに激勵し耐八時

ムコルキー戦の容態は十一日以來 モスクワー四日同盟]文家マキシ 心臓衰弱加ふ

全く質量すべき容然に陥った。十 心臓の衰瘍甚だしく十三日の如き ルキー翁

腸胃カタ

原因 学で押)を開等が直接が順送となる事が、急性や文部、直衛、防盗等の諸病の後に解源的に世や文部、直衛、防盗等の諸病の後に解源的に世や文部、直衛、防盗等の諸病の後に解源的に世

(1) では、 の経験、放生、治療法の強力を共の他な対象の保証、放生、治療法の強力を主の他な対象に対象を持続である。の急性は急性能関力タルの反復が無一である。の急性は急性の間関力タルの地方を放成は耐と言っても

治療

恐ろしい に歌歌奏施の一番比索を晴。な人に歌唱の下台 のがしてはならぬ恐ろしい事實である。今に正 のがしてはならぬ恐ろしい事實である。今に正 のがしてはならぬ恐ろしい事實である。今に正 は第一個関カタル思者で、凡ゆる展光者の大郎

ルとは? が強くたくなりいざ我物を聞の間に見ると気を付けても大して食べらればい様な気が、可想、高さは別しくなり、盛には我は気が、口想、震然が悪、同じ進帝を取すと姓る。

にもなり、全身の衰弱部界は甚だしく、心情元 明カダルはどんな症状を呈するか? 大郎の間 一番もカタルに犯されてゐるので敬記の諸記以 の器関係思い最大版因である事は恐ろしい事。活動力不足に陥る。そして監督カタルは認

器・防壓・網絡の作用のある整形を必要とする膨射線の作用ある楽想・下網技術には映り駅を 源因で、健康と長額の基。陽周の主に関する。か大低の器関係の主



等より起る 時候傷 消化不良 はらはり 腸カタル はきくだし くだりはら

しぶりばら はらいた

胃カタル

Z.

□ 定 三 二 十 十 舗 鎹 錢 五彩行 長東村 香東京八六 京市豐島區 錢刨 敬 用德 大三一

全國有名樂店に販賣す

四级

圓圓圓





宫內省前侍醫 柏村博士創

疫

腸胃疾患特に悪疫を誘發し易い下痢腹痛には是非 他んた節肉を引きしめ、患部を漸次収繰して、 一分 肝して、その爛れ傷ついた粘膜や これを管外に排泄する強力な作用を選揮するて思部に附着する諸種の病原微菌を滅殺し、 が、下痢をまり、紫藍の吸吹を辿め、元治するに最も跳然有効な特殊作用を加へるとするに最も跳然有効な特殊作用を加へるとなって、一次の場所の散光が増の土肉をなすと 生する有害菌や、外部から優人し 腸胃粘膜及び筋肉の排傷部面に作 態容るす應適

ブ

0

苔舌、渴口 0 時い臭の中口くし苦胸 ひ伴を らばり 澁、繁頻 痢下● 時たし催に激急を 痛腹 痢下 ❸ 時く續く長の 痢下様水の 時るあ感の快不に門肛後便大

乏缺慾食⊙ 時るすの音な様たつ溜の水とブダブダは又り鳴とロゴロゴ み痛の部胃に 後食前食の 時寸催をぶつけ、吐嘔心悪、けや胸

に部胃を 痛疹性熱灼の 時の振不慾食え痞先胸 久覺を 直で 弱虚胃腸々常⊕ 時な様す起を量眩痛頭に時同え覺

熱發、眠不くな氣元、ヘ 衰養祭の身全めたいを胃腸ぐ ・・時ぬかつに身の物養滋、し起を弱妻経神

備常に庭家●携必に行旅●

豚の背後を衝

はした錢で愚民を動かす

ギャング團を徹底的掃蕩

御哭し相馬車は車體を極望し、其一央海院で治野中 國境商況の面目一

上統権権を肯皮にあって関切すって罪る金に推か年均一回二十銭 上策と共工事官に順告されてある 不均いる (迷げ) 力解が伏症してあることにあり 行してらるものの後等がこれによ 一つとして平北利量祭割の総験版 不均いる (迷れ) が知また敷織上に身を盛して成 のの根本価無約に対する見機疾の 祭の連続が得されてある 一に背後に朝他を決行せんとするの に総権権が 時によっては生命を失しを防止するのみならず途極そのも 液体 書に異さ出産、惨山に向った人様低純整線をして繋りに頼へてま の財衆を続することになった、然 資泉すべき総権権域のギャンタ 仏 歌楽談覧であい十三月午町十海町「協権機をして繋りに頼へてま の財衆を続することになった、然 資泉すべき総権権域のギャンタ 仏 歌楽談覧であい十三月午町十海町

經濟界主重大轉向

2整力器に對して徹底的に描寫し一足らずでその大部分の利益は影像

|勝力問題に對し新義州器 | 事件を絶對に截生せざるでう最近 | にあり、からる眩撃は一刻も早く

第一今後出物による安東税間との不祥。当を操縦するブローカーと資本家「警察機に出動を命じた、断出地行

士は爆撃成力を完備した最初の歴

對局者の言葉 白)六で「れ五」の観期シマ

マメられませら (白) 十二で十四を先きにするマメられませらのは、顔で白「れ十二」とも成立しませらが! トーは労命。『ぬ四』の最に諸母の報りでした。 (相) (石)のでせう

(銀) 九を「れ十二」に一路接」と黒っわ三」のツメが紙でしたが

その時は七を「私十一」「の時は白土を「ぬ十七」とヒラか。いの流行ですが

新義州署の根絶案

街の不良常

組が傾山町の飲む店売和額に堪は 進走した後で、同様手段で消食を したが巡査がかけつけた時は既に におへぬので中央通版出所に申告 他を出せと重要して帰れ廻り手 大郎」十二日後衛の不良職八人

變則的な密輸景氣を是正する

英CF は暗脳を真び何れも耐内中 を加へそれよ、順難地へ決盗した。 開着東幕は歌画に劉宗、崔青 善好りを行く 朝思を含せ、十八名の《『 明新東幕は歌画に劉宗、崔青 善好りを行く 朝思を含せ、十八名の『 『 第二』 警察器では十二日午前四の神道 ど無幾飲食が確とて来た、

という問題にまで進むに至ったが

の具體策が徹底せんか、

爆撃威力の實

楚山對岸の匪賊掃蕩に

北警察機が出動

|選起となり銀力壁の徹底的描寫||低、間輪束網は顔面に製飾、推示

門地の敗縮常局の影響防止に膨す

た影手権永明は顕都および手足そ はずみを無つて路上に投げ出され

蔚山の浮浪者狩り

て去り入間り立者の水で影楽者と 命に父は既恭はに、名だけ琴

【大部】銀用犬セペードの総が生た。 間、早速単位に出かけ資準欠難に 】早速前近の痕迹にかつぎ込み脈急

(假名)セパード君が朝日主人のお 人力投氏はこの 症波氏の 東荷 三年

だ珍咀糖一届個内工町で田襄夫氏一後民を連れて舞ったが、彼女の

事書を施したが生命衛龍である

女兒轢かる

の輪閘

伴をして脳外巣村にピクニック

集會禁止

平南地で通牒

東を受み虚正罪女は自出度く戦。東で飛び出してみるが、なかの東を受み虚正罪女は自出度く戦。東で飛び出してみるが、なか

はしてみる

が家を忘れてズルノーベッタリ愛一で仮然初等を抱き起し日下仲敬書 の許まで日参してゐるうち遠にわークリこちらに言こせと認能したの 染めた丸長衛彦氏(假首)の愛犬セー当げるものかと東村の役女の主人

高り国第江民は民国報告重性報 ると、もに機構変更を聴した単北 経済重な財政化財の自用報酬問題す 豊し・青に最重等成の部令を載す を記されてある状態す」日 達山縣 は事態を重大凍し第一線集設治に は事態を重大凍し第一線集設治に は事態を重大凍し第一線集設治に の人如く温瀬船、人質拉去の匪蝎」類無側の攻壁を削止すべく影解江 も動縁江上は戦闘の最中にあるも 一帯の実態を指述し、うち百名は 欧の塞動にます~〜演進を極め恰一緒・同行山城谷を振振として同村の金銭を変更を強へて馬、配一の一般約二百七十名の大部隊が築 ある聖大政に対し平用道でも同教 【主選】整務局の解除を加へつよ 一切郷正さべく質下 を埋むしてみると削削の対形と他 **媛した、ところで一方度民の主人| 湖岸出来さられなく街の諸様を瞭**

列車飛降り

南足標下から麒麟された、【西門通りを通行中、後より追越し

か?

五年が西平場のより平場のに向け

に輪頂頻

娘を見送り

瀕死の重傷

の案内で同断に試案、第一戦型の案が支局長は非土英州出場所

金船は利日間の煙草を属田川で

鎮南浦」本中四月公工した黄海

新船 『治風光』は十三日

煙草配給船

種用制に入市、根は高中観工場

の地質所行を引導して水闸し

一日に種痘を支けた点が五千人 鉄人に對して種痘をしてゐるが 首前時内五ヶ所「種痘所を設け 飛込んでゐた際列車が動き出した 娘の旅立を見密りのため列車内に 娘の旅立を見密りのため列車内に りは危機……十二日午町七時頃井 【大田】見送り人の刺山内に立

觀衆熱狂 開城の實業野球戦 華々しく幕を開く d

|平場|| 平濱中和郷東キリスト教||東面亭子里東萬洙方より出火し二||ある、思北柳山郷上主面生れ呂線

類別した程派章方の八十二歳にな 満に居住してみたが夫が河片中形に四棟を全級して五時線火したが「子子」で一月建以順まで間部風道

を遠げた、失火殿歴は火元金萬珠を記載する月飯で現に隠し霞賦へ

入り込み邑內五湖南后即正奏 **。

方に出入する人大選に使ってゐた

安東の行商狩り

洲绿金株式空世

の長男龍田が火速びをしたため、

成績表を直して禮金とつたり

偽文書で校金横領

間初日は天真に忠された十二日出一やうな熊難二時間半、結局八男三 中であった開城質業軍門流野が大一の光文で開始、南軍とも火を吐く **八派を集中して議事ファンの舒應。回服襲費策場所職軍の試合を緊要【開城」オール開城スポーツ界の「の始城武により安徳氏主張で第一** で断縁軍の瞬柄に踏し川間き総首

書景勝鎧して母校の公立一千五百

低度成績表を上手に伴ってでるか の敷名に對し上級保校人県の職の

府内 奈何…丁川京城支店カフニー

日子明十一時代 艺

日動車追突

開業宣傳隊

同日午後 出帆 海州に向つ

シゼルが同業政権のため宣標者

。自動生(企用で五號)と

無残な嫌死

美山1十二日午後四縣廣山郡仏 片の近帰者と贈り目下取職べ中で「かくり

国を横領的なしてあたものである 用外加行場的近で運動のほとい 【音楽】十二日末明真魔器地事が 會學署で捕る

八時から全市に亘り一層に行商狩【安東縣】安東署では十二日午前

阿片密輸女

江東の火事

夏海戀し夢金浦

| 賃邮社で賃金をの他の役頭が | 次の知きサーザイスをすることに | 日までの期間俗客を踏動す| | 復別形 | 一戸一出一・| 圓本各 | 打合屋服を塞げしたので七月十一日から八月 | なつた 質録では夢金庸の海水浴一つため土地名繋から往位三門引い 早くも浴場の設備

殿山郷軍會合 [第4]

るわりちとへほには

・ 何となく氣が進みませー 一四で直ぐ十五とトンで

|交換出來たのは有難いやうに思|

作り書簡は目覚ましきものがあります。 晩熟の棋士中村四段の

者は、三尺八寸の大太刀を振り鬢 巖の上に、突つ立ち上つた武器

一刀を提げて入つ

思でいる見越し

_美鶴 畫演

(34)

し、地震太路んで、

と、呶唱つてゐたが、尽概は、 一やいこれツ、単独都が…… 制限時間各八時間) 新要時間(許 ○:)

貝美つてゐるばかりで取合はうと

●黒一、三、五の三原は前指位、前者して其の刺じ気じの形。 出現以来、毎季の大手台に飲で流 が聴動にぶら下つこれるだけに、 出現以来、毎季の大手台に飲で流 が聴動にぶら下つこれるだけに、 り配になシマリを導んだところに、 内容の対点で用いる順語、とに對 その気含のよさは交替期、本局な しこの高日、四の扉で対抗、大 片や中貴氏も申礼運歌を目ざして の細になシマリを導んだところに、 力減、見ごたへのある一局とい 見舞ひ申し、撃つて職天を連続政 「やあ、そこなる天下無敵の大家

強のトラックが石電用の激奏 前近に書籍法文取に述ぎその解除

異路日立、便取してそのまく変を

本屋さん惨死 た、電量の連続手はトラック 九五號と申出したが二 」と自轉車激突

暮な珍喧嘩

相愛の犬を前に啀み合ふ飼主

大邱の街に新話題

削力十米の凹地から網路に現れた一 地上回面景影路の地立を帯地中、 新北西殿成門行佐切り申が成州 成異3十二日午後一時二十八分 **醉興男の怪我** [平編]

れ削縮部に治療的

珍奇な雨乞ひ

電工都建設關係西松風祭用自動品

十一機器地(ごぼ耳下端川間内水「端川」本球戦戦時が東京町三丁目

十一時华的貨物血嚴に從事定行中 通野手として動物中、中三日午前

国内大成里二九洪在順宅前にて同

家の三女進心女に衝突、右脚の二

前部を難除、直ちに三省後続に

総加派中であるが生命位属

衝突して逸走

で職合断祭を執行す、、く計戦中で

お天道標を思む聲は脂肪に満ちて の大旱咖喱きで展展は個人扱き、 【清州】田植明を間近に空へ稀有 | 三名が集まり箕で水を掬ひ上げ は雨が降るとの故事に倣ひこの珍

『神殿長野が中に年齢廿二歳位の十三日11年』 一川川川川の窓山川町山公園・一川川川川川の田川町では、「金山」

是候關東軍衛兵司令官 九日形 上げた。際上に取扱された影響都 は崩噛みをして口惜しがつたが、

かせて、ツカッカと娘をくいる途

木俣が落

総大は、元国にま

は、三男の後六

もう一度木枕を以前のや

あつた。或時、其の二人の伜の一 而して、以際には、三人の伴が | たちまち枕に三つ 期に大阪流の一派を開くに金 ちるのと刀を扱いたのが同時であ

に倒れてゐた。

恩品經領事、田中同船領事 小領事本面署長に豪穂、中氏(延音領事分館署長)

▲井田部十九師鑑参議長 十日雄一貫で、所道の名手でありましたか

▲宋浙西流 橋本半八郎 氏外二名

▲城富甲山郡邑面長一行八名 十七名 八日雄墨君。十日曜二、一七名 八日雄墨君。十日曜二、

豫防薬らい 南大門通ュノ四五 白虎社 製品部 東京銀座 新興製業株式會社 定價五0 100 100

門かあることを

見つけた。

枕を取除いて部屋に入つて來たっ を以前のやうに 事とは気がつか は、徐かに此木

なかつた。内間の

母罪塾両史上不朽の金字塔、猫班 母罪塾両史上不朽の金字塔、猫班

で入事した。

て、水枕がおも と、帳の上から 質に嫐して、部

中央館 中央館

若草映画劇場 湯

無 初受強風の映画が大の間(五日間) (五月間) (五月間

がいる。

源浪花館

※1ル日本 ※育學臨地方進出第一回公 W

爆笑漫歲名人大會來源

る一切の事項を網羅せる辭典の必要なることは言を俟

然るに從來我國には真に之に應じ得る教育學

多年の努力を重ねて本質的に優秀なる本教育學群典を

最近の爲替を國際

(最新刊窓ち五版)

收容領域は廣汎にして斬

再訂版正

嘶典が存しなかつた。我々は深く之を遺憾とし、

されるものは夥しく多數である。併し教育に從事し若

は進んで之を研究せんとする人々の凡ゆる疑問に當

找國教育の發達に伴ひ之に關する書籍及び雜誌の刊行

佐々

々木秀

篠

原製

外解する明徽透徹の秘鍵出づい今日の重要經濟問題を直ちに

阿

部墓

重 孝

城

間はコノミスト翻答

巻御求めの方に限

本人の等しく瞠目すべき

蒙問題に當面したる日 あり、今や、國境問題

目

映畵 ソビエツトロシヤに於ける演劇

亞國際列車株式會社設立案

店

の炯眼。この一書こそ、

問題の赤化画ロシャの運命を断定するの

を憚つて誰も書き得なかつた事を、實に面白く書いたこの大騰、

モスコーの離婚登記所を見、之迄いくら面白い事實があっても、

東

を考へたか。世界最大ドニエブルの國立火力發電所の機構を窺 氏は、統制經濟、計劃經濟の本場ロシャで、何を見、何を聞き、 中シャの見聞記や曝露記は多い。然し日本資本主義の最高峰に脚

鐵道に、演劇に凡ゆる把力を發揮しつ、ある小林

て、電力に、

新

刊

寫四

写真 十數 葉入口六版二五〇頁

定價

拾

便利なる索引

開際 六月 三十日 新月 昭和士 年上月 番月 昭和士 年上月 一番 昭和士 年上月 一番 昭和士 年上月

威ある内容な南の理論は

角的、具備的に理解せしめる場合となるべき項目は、例如を考となるべき項目は、例如理を考となるでき項目は、例如理との表

不邦教育の尊重。原作に偏さ

新なる資料社會の

型 角板 播典

血

くても書けぬ事

te

思ひ

切

つて書い

たの

か

本だ!!

歐 黑片岩岩

際関係者を初め、現代の最重要問題たる教育に開心す

一教育文化の記念すべき一大金字塔である。教育の管

る凡ての人々に對し本教育學辭典の利用を切望する。

▼文部省推薦の名著普及

頭痛で

暄意 醫學博士二宮亮吉 宫病院 電京。本一二〇一番

法人登記公告法人登記公告等条件。

で頭痛を忘れる

天城屋ン

店會

五

E 職安州支廳

B F

難てませう お焼はキノミールで

仰い神びと

商業登記公告

中国 市国 中国 市国 市 和 市国 市国 市国 市国 市国 市国 市国 市国 市国 市

三十五十ン 田東部部園

商業登記公告

もの

台でするい

商業登記公告

調談登記公告 法人登記公告

されるデ 及油タイ

で製

御ンに

て高優は区

於照井巴支廳

在昭和治安年五月武治五日合記 在昭和治安年五月武治五日左記並復会 本田遺主在月武治五日左記並復会 本田遺主佐り其ノ並切接嗣ラ帝抬 四萬七子閩祖上幾四久

調査局で研究中の

あるのみならず、日本機神をはき

林法相決議を固む

際成一新の波に乗じこれが質地を

いても同島百の意思表示を答用の

全國二千の制候事及五千の裁判所

希望し、今次の

貴院改革の根本方針

の調査を能するところあつたが、 資料の提示を開始することしなり

震議員を廃止するとに「少数の方がその質的に前上し張力」複雑なものがあり實現送には可成の選件の徹底、事實上「少数の方がその質的に前上し張力」複雑なものがあり實現送には可成の選手のである。

なるものとなることは明線な事實しの地形があるものと見られてゐる

民日コドモョは非常な<u>№</u> 午後四時半数額した

原の第卅二回列國 製質問題曹級

お詫

人變な成化

てゐるがこれに對する理論的根據 であるとしてゐるが、かゝる敗臣

實現迄には曲折豫根

現せんとしてゐる、即ち

航空省又は般空院を新設する

目下海軍省と折衝中

料のバム鍵道の建設に資手 出でんとしてある、之が

重輕工業 が第二次五ヶ年

を摘塑して置いては如何に融後車「微融はここに一感の整備を終る型」級に遠し、こゝに就の死命を踏してならな揺籃である、射かる質術・膨融と損疾って悪生寒友鬱の中機」して興和する一途あるのみとの綴す、ソヴェート膨戦とは鱖落地岐「具體化を見る質である、激泳部の」る次方派を原庁政党時代をヨード四百、定時職を搭配子やロに過ぎ「繊維を重ねることとなったが近く」た能楽の徐騰を観し時間に対威す

||後連日に亘り組織網の概立に闘し||結果、無為無策の理に宗難してる|

紫本郎において知識合を行ひ、今 聞もとなってある事實に反當した。 響では征楽の戦策から明放され、四郎、石坂豊一、桃村光三の四氏が の聊弾より献もすれば、誤却され したものである、 能つて成発動を 後、鄭長砂田車政、制館長町川線(脱が総能に関する追力を録ぎ園長、趙臧の西州と篤務部(北に置すの後)と、政宗)、する皇が代の決定を見たので、十五日午」る海縣曾線総職の徳原と、政宗)、する秦族本部として政務戦を資の

延を重ねてゐた政務制在曾の正副|體誕紫及火京神宗川の展鵬下に宣 [東京電話] 政友曹では久しく淵|びとなった、政友曾は出る二月の

る器線本部として政務調査層の

中等校庭球大會は

朝鮮人問題 内地在住の

潮内相が訓示地方長官會議

医尼尼尔拉 医聚2一月六三节

大汉林

善解商業が首位

「紅て重要なる訓示を行ふ声で活

藤島の弧光

ペギレ氏図師だれた側卸が上級の開発され、悪団御師がために開発され、悪団御師が上級の開発され、悪団御師が上級

化柳病專門

、ドン條約の噸敷制限より第一一週間の豫定を以て開催される

の地方長官の厳は恋よ十五日より 中央、地方、丸となって歴史

政務調查會組織活用

と黨務部創設に着手

短見に墮すな

地方長官會議に於て

有田外相が訓示の筈

質を闘り、既に湖州事題當時 ト聯邦は省大軍 間航空の擴張

て兵器軍務品の大部分の自続目定 | に立つ政・冷修整 宮撒を観検披塞 | 陸軍警局は石器融に基き風景の決ては、ソダエート賦刑は極東に放 | 籔 は我 國の隆東 平和艦隊の記憶 | であるとの結論に到達したので、北流行機工業等の完成を見るに放 | く増大し楽ることは必然であつて | かに整備増造するは國防上不可避 き垣隣の増強軍事施設の完備はそ一保せず、防共日本の削途に容易な

| 野力に岩嶋するの軍備を可及的速 略に國防の増売を併行して民間院しれて居るるので、陸軍では明年医以降稽極一業の場形 史生政友會 **嫗機關整備**

クの軍部上来、イルクーフク自動。 体泉に於ける軍事的支配搬は著しクの軍部上来、イルクーフク自動。 体泉に於ける軍事的支配搬は著し

用に當つては陰極軍との對立又は 元の復富事項は航空組織に飛行機である、航空省交は航空 傷の二部門であつて、之れが運

陸軍は異常の決意で目的達成に邁進

陸相から首相に强硬進言か

の増强は不可避

太田垣少將

統制帝國代理大使縣井磨之助氏は一イギリス政府は既にアメリカ政府 制食に與酸はないかと心脈中で

肇夏及葛夏至急本院庶務課宛送

金

解人ヲ不問急募ス

城

:成 明 治 町 1572・4037・3939 2088:3638:3939

婦 募

集

南道立平壤醫院

圖一 枚一











メリカ政府の川答應言に能ひ、 る、その要求変裁方式としてはア めてエスカレーター候項を援用す

長官會議 けふから開催



△榮譽を補給し、心臓力を張め、精力、體力 を増進し、速に疲勞を恢復す。 (スポープ、ヘイヤング、軌路、効學時等の疲勞) △心鱗疾患、虚調體質、二日酔に著効を奏す



ののは名と指数照照によって判 料三担生の対して、よる四日

逮捕したが、最初自供した悲 門器の敏捷沈着な活動によっ

能がせた時児智温遊犯人は自

前科三犯の男 指紋で身元判

能罪もあるものと肥み目

30歳 .50 50歳 .75 100歳 1.30 500歳 5.00 本計 東京・京畿 ラチウム製薬株式會社 出張所 京都・福岡・赤天

京旦案內

告に限り特に竇輿こて混破十一銭増料金は削納の事但就職協 就在学十五字站一

多峰一等版资 京城旭町三丁自旭 多峰一等版资 京城旭町三丁自旭 景郎(電本二七九七番)

午前十時から彼江人道橋下二千米 **川全群フォア選手職大會は十四日** 日本問題出質朝鮮支部主信。第二

遞信軍優勝



快 適(単字版大 第ヘーヤロッタ クソション) 安 全 (新プレーキ バンバー) スタピライザー スアブソーバー数隔 經濟(燃料消費量低減)

きない

摩 不 要 稅金經費低瞭

同

同



鮮 日本自動車京城出張所(乘用車) 京城府黃金町四丁目 平趨府里門里

店 朝 ėγ: 迫 H 商 命 被山府本町二丁目 關東州 *** 同 肚 奉天出張所

横濱市。新子安 日 産 自 動 車 株 式 會 社

全部ラ繰上償還可致候エ付此段謹告候也 |記五分科附勸業債券(+圖業)ハ各表示ノ期日ニ於テ抽籤ノ上殘 割增金附勤業價 價遷廣告

全鮮庭球。中央代表に

朝鮮並に大會新記録)

煙なき地の福音

不政候間償還開始ノ上ハ至急

略和

#人ヲ目的トスル特約預**金**恩券現物御提出被下候ハ、||**金**ヲ添附可致候

銀

行

株式會

頭痛

が一番です

七) 服部 服部

会 (弘法大師の知会 (弘法大師の知

弘法大師の御遺徳

無務部長 僧正

その整備と今日まで歩いて来た

信じられない冗談のやらな領標で

そのうち遊びに行つ

『うん。もら重きだよ。あ、その | 放された窓からは海豚の苔薬が襲

先づ下ろした。要山に面して朗

同六時二五分(六)勝寅 弘法大

やらに傑生つて楽た表現主義の文

ど潰滅せしめた、しかし、腹禍の

世界大戦はドイツの劇圏を殆ん

生した熊鼠の多くのものは、軍に つた、この新興の常連に乗じて簇 藤運動の勢典と共に、略一九二〇

一時の流行に

同二時・趣味講座・六月の家店 山)東京セネタース特登山場の時一〇分 所述が合置記

大戦後の獨乙劇團

同零時三五分(火)國民敬為 明

節けてゐる造允を、女中達は、

と、これ実が治介の別越荷

つて、午後の陽の熱器を受けて、

豚はれて笑ひ出してしまつた。

先生とは、解作だね。」浩介も

同六時五五分(東)カレントトビ

阿六時 IO分(第)コドモの新聞

日經(終) 服那 日經(終)

十六日き、物

の強きた時である」と遺されてあ

同九時三〇分 歌詞

同一〇時三〇分(東)母の時間子

の興隆に懸命すべきであります を堅く信じその御数に從つて國家

つうむ、恐が変たら日本語を敬は

鑑度後の複眸人の部落を通ると、

一般分、田舎ですねえ――

原しからうかを思はれる十種程の と催促してゐたのさ。は、 **養子張りの、夏ならば、どんなに** るんだつてね、先生はまだかく

來るならエプロンは

日韓子は何をしゐるのか初から

職を持ち上げるのが、一苦勢だ るそこなんだよっだが、此の箱

同九時三〇分(東)時報、

ス・無象流歌・翌日の番組(地

同八時五五分(東)ラデオコメデ

福州合邦辻(合邦内の段)

十五日番組 ~ 月曜日》





ある心質だよ。殊によると関の方 土の征を強つて行った。脊脳に、 ―。 じや巫に角一枚づつ持ち上げ

北 金

◇四四歩 ▽七三飛 (88分)

いたにしても、四五歩、五二歩、気もしますが、ここで六四馬と引

寺田 五四馬の切りは惜しい

今こそ、死物社びの力で働かね りのあるアクセントで云つた。 あゝは云つたもの。本當は、どる

朝鮮人の商店の旅んだ置い釧路 白の野に、少し痩せてはある

はならお時がやつて来たのだと、

の手番寺田六段は二四歩と突き拾いよく一肚を極めたのか、今日 席上插話 艫

迫つて来た

5持時間各七時間 消費時間 ▼□時間十七分 ▼五四馬 (20分) ▽同 銀 (3分)

他の運びでは、駒根が加はる場君の四四歩は融み筋であつ

準備としては営を得てゐる 登田君の二四步の突き捨ては決 の 金 易二郎 関連つてしまった途を歩むこと は却つてい」と思つてはみたが 度は握、自分は自分と、肥々に に浩介も嬢な気様になった。

持つて来て下さい』

「はゝゝ。僕にだつて君位の力は

五局

剛は一透らの局面 一持約」をも田氏

الاف

先六日寺

勘

8

表 金 全 全

父親の生徒が、一個にして空し 崩れて行つた場合、あの年若い

一場が別込んで来るやらだ

指角深貫つてゐた心持 が話より強いかも知れないぜ

掛いで上りますから、貴方は本を

同零時三五分(大)國民歌謠同零時三五分(大)國民歌謠

入「附」淡斑なし 窓川樹 作と後野時五分(東)京鵬 狐の録 果)時報、日用品值段、 (東) 家庭メキ 時職、日用品值段、鮮豆混造正 初田 宥和

國多度和年風浦に肌々の賢を思げ 以前、置銀五年六月十五日、讃岐|帰生の濃龗は之器く溶出 島は、師、道の三型に選し建し 本文化の風師空而上人、後の弘法 を去る子百六十三年 | に高く数法萬古に購へて曹ノ 倒めて我が國初等被背の潮を裁し いろは歌を製作して日本文化の世

個後野ら武言宗教を眺め風徳一世一



8

呼ばれるお魚がドシドシ日本へ櫓 お御や川に掛む、美しい無常魚と

の際帯のお魚はどれも大戦珍らし **蚁はメキシコ、南アメリカの洋々** 織、ジヤバ、スマトラ、シヤム等 つたり、或は我が日本の海の生命 たる流れなどの熱い地方です、こ

生といつて卵でゝなく直接それは す、放送の時には此お魚の倒ひ方 可愛い赤ちやんを産むのもありま 万法で卵を座みますが、中には胎 ち色を懸つた面目い 一次 海 火 網球工具 總準工具 海津太早 新山 - 岡川 - 神戸 - 地東京庁 各百量 - 南水 - 地震 北神東京庁 各百量 - 南水 - 地震 日 清津三日 元山富日

などもお話いたします 講演生

丸日群山日本補

日 海郡省日 光平日

> 鷄卵四個、牛乳三合に匹敵す このビール一本の榮養價は

社會式株酒麥鮮朝

日本産業の

進み行く道

せられた通り徹頭徹尾売世焉本で て『世を陛下の法將となり』と何 法大師の宗教は一言

本紙一高號記念懸賞小說二等當選

整無面上效果基

立することも今日の時代の要求す をするめて良質度質の商品を製造 音々は産業を通じて國家

カー致男力しなければなられ を打削するやうに、我が自民は働 ればなぬのであるから、この苗瀬 西部職といる荊棘の直を歩まなけ

明鲜或船株式會社 代整爾坦文 2 本限四一九五条 銀山文 5 大 6 元 代整爾坦度四〇二三条 代整爾坦度四〇二三条 代整爾坦度四〇二三条 「東西度」三四条 「東西度」三四条

惡疫流行

シシイカ

ネコモ **ヴリコ**ガ







製法

特



を選げてゐるが、然し我國の増開

産業及貿易はこの数年非常な撤進

恵も角概して言へば我國の



子にたくるりん病

家性の意味がある。

京城本町 株式會社

木

樂 症

房

迪 村

應

三日 露唐描三日 仁川宝日 新年韓一年第一年 國南運活 仁川一日

日 群山 晋 木浦 吉

國大阪商船豐出帆

| 「大阪内部に出い | 大阪内部に出い | 大阪内部に出い | 大阪内部に共式会社 | 大阪内部に共立会社 | 大阪内部に共立会社 | 大阪内部に出る。 | 大阪内部による。 | 大阪内部による。

僵

「ファックリング」 「ファック・ファックトラング)

で治せ



模範的頭痛藥!

脳をこわされ

come

製

元賣發造製

二寺圓高區並杉市京東

所究研藥製大六